# 令和3年3月定例教育委員会会議録

1　日　　時　　令和3年3月22日（月）　午後3時

2　場　　所　　氷見市役所　全員協議会室

3　出席者　　鎌仲徹也教育長、森節子職務代理者、北鹿渡文照委員、湖東政俊委員、關野洋香委員

4　職務のため出席した事務局員

大門教育次長、鶴参事、天坂教育総務課長、角井スポーツ振興課長、桶元学校給食センター所長、鶴谷教育総務課長補佐

5　協議事項

（1）　案件第1号　氷見市教育委員会職員服務規程の全部改正（案）について（教育総務課）

（2）　案件第2号　氷見市立学校職員服務規程で定める様式における押印の特例に関する訓令の施行（案）について（学校教育課）

6　会議内容

（1）　教育長の挨拶

（2）　教育長の報告

令和3年2月26日（金）から3月22日（月）までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

［質疑応答］

**◎新成人のつどいについて**

委　　員　：式当日やその後何か問題はあったか。

事　務　局　：何もなかった。よかった。287人出席した。

**◎学校給食センターのアレルギー対策について**

委　　員　：除去する原因物質を増やしていくとはどういうことか。

事　務　局　：除去を行うアレルギーの原因となる物質の種類を少しずつ増やしていくということである。除去できないアレルギー原因物質が残ると、学校現場や保護者の負担も残るため、将来的には学校給食センターで除去する原因物質の種類を段階的に増やし、学校現場や保護者の負担を減らしていきたい。

委　　員　：アレルギーを持っている子どもたちの把握をどのように行うか。アンケートを取るなどしているか。

事　務　局　：アンケートは各年度取っていると思っている。センター校については、提供する食材のうち除けるものは除いていく。

委　　員　:様々なアレルギーがあるが、保護者から報告してもらわないと分からないのではないか。

委　　員　:アレルギー対応については、就学時に保護者から報告がある。どれくらい食べていいのかなどの調査を行う。新しい給食センターでは、皆と同じような食事を極力出し、その子に合った食事が作れるようになる。年齢を重ねるごとに自分で食品を調べて除去できる力を養っていってもらいたい。そのような指導をしていきたい。

委　　員　:小学校でアレルギーの学習や取り除く力を養ったり、中学校では宿泊学習などで食べられない食材を言えるように力をつけておくことが大切だが、新しい給食センターで専用の部屋を作ってやっていくので、うまくできるのではないかと思う。

(3) 協議内容

案件第1号は天坂教育総務課長が、案件第2号は鶴参事が説明し、可決された。

［質疑応答］

◎案件第1号について

委　　員　:「氷見市教育委員会服務規程の全部改正について」の2のうち、「本人印」を「本人の確認」に改めるとはどういうことか。

事　務　局　:押印廃止の内容である。

(4) その他　4月の行事予定を各所属長等が説明した。

(5) 4月の定例教育委員会議を4月30日(金)午後3時に決定した。

(6) 閉　会　午後3時50分